

社説

2016.2.7

地元目線でサービス向上を

高岡地場もの市場

昨年末に高岡市御旅屋町「高岡ローカルフーズ」が市の助成を受け、空きビルの1、2階を「高岡地場もの市場」は、地元の野菜や加工品のほか「飛越能工

リア」から取り寄せた豊富な品揃えや、買い物弱者への宅配サービスなどを実施して、市民から好評を博している。県内には富山市総曲輪に2010年にオープンした「地場もん屋総本店」も定着してきた。いずれも市内中心部のぎわいづくりに効果を引き出しており、地元目線で郊外大型店ではできないきめ細かなサービスに努め、食を通じたまちなかの憩いのスポットにしていきたい。

一方、昨年秋に開業5周年を迎えた富山市の地場もん屋総本店

は、市内の生産者や営農組織が出

した野菜や果実、花、加工品な

どを並べて想定外の人気を博し、

同年9月末に来店者120万人を

突破した。同店に会員登録する生

産者が増えて、競争意識が高まつ

たことが品質の向上を生み、地場

野菜をアピールするアンテナ店的な役割を持たせたことで、客を呼び込む好循環が続いている。

高岡の地場もの市場も、劇的な意味でも、衣食住を充実させ、生

にぎわい創出とまでは行かない

が、まちなかに着実に根付いてき

た印象がある。歴史都市として知

られる高岡市だが、中心部の街並

も参考に、地場もの市場を地元の

みをめぐる観光ルートの整備と合

わせ、生活の質を高めることで厚

みのある活性化につなげたい。

再生に取り組む市民グループの活動が熱を帯びてきた。居住を促す

高岡の地場もの市場も、劇的な意味でも、衣食住を充実させ、生

にぎわい創出とまでは行かない

が、まちなかに着実に根付いてき

た印象がある。歴史都市として知

られる高岡市だが、中心部の街並

も参考に、地場もの市場を地元の

みをめぐる観光ルートの整備と合

わせ、生活の質を高めることで厚

みのある活性化につなげたい。

中国領海法の問題点突く

航行の自由作戦

米海軍による「航行の自由作戦」が、南シナ海の西沙諸島海域で実施された。沙諸島海域における中国の領有権主張と人工島の軍事拠点化を認めない、といつオバマ政権の対中政策の姿勢から、同作戦が昨年の

1回限りで戻すほどの姿勢からは、通常

ないかとの疑心もあったが、通常

の警戒監視活動として当面、継続

パマ政権の意思をあらため

の意思を明確にした点でも意義が